

第2号議案 平成28年度事業計画(案)

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

1. AD拡大推進3ヶ年プロジェクトの実施

平成28年度はプロジェクト第2期として、以下の事業に取り組む。

健康生きがづくりアドバイザー(以下アドバイザー、AD)拡大推進会議による3ヶ年計画の目標実現のために計画的な推進を図る。

健生協議会の活動推進を通して次の事項について重点的に実施する。

2. 健生協議会の強化

(1) 健生協議会のブロック化と各地域組織への支援

全国にある健康生きがづくりアドバイザーの地域組織(以下協議会)のブロック化を推進する。

また、各協議会が開催する養成講座拡大を支援する。

(2) 成功事例の水平展開

協議会の成功事例、メディアを活用したアドバイザー養成講座(徳島県)、行政の提案型事業の申請と受託(さいたま市)などの成功事例の共有化を進める。

(3) 2つの全国運動化

① 100歳大学

滋賀県栗東市でスタートした100歳大学を県外での実施を図る。

新潟県長岡市、福井県鯖江市と若狭町、岡山県倉敷市

100歳大学では、AD養成プログラムを含んでおり修了者はAD登録者となる。こうしたAD登録者の各協議会への取り込みに注力する。

② フレイル予防

東京大学高齢社会総合研究機構によるフレイル予防トレーナーならびにフレイル予防サポーター養成を担う。

(4) 生きがい就労

① 生きがい就労の調査・分析

今後の重要な役割として考えられる高齢者の生きがい就労について調査・分析を行う。B to Bにつなげていく。

② 障-高連携事業の拡大

障-高連携事業を分析し、更なる全国普及に努める。

(5) クロスライセンス

① 音楽健康指導士

音楽健康指導士(一般社団法人音楽健康協会)とのクロスライセンスを拡大する。

② 介護食士

介護食士(公益社団法人調理職業訓練協会)とのクロスライセンスを拡大する。

いずれもAD登録者の各協議会への取り込みに注力する。

(6) 健康生きがい学会とアドバイザー全国大会の連携強化

11月開催の健康生きがい学会(京極高宣会長)の第7回大会と健康生きがづくりアドバイザー全国大会との連携を強化し、アドバイザーの資質の向上と社会的認知度の向上を図る。